

サンル川内水被害状況

道道工事に伴い、従来の排水系統にあわせた排水路(道路側溝)を設けており、第2樋門の集水面積は、変更がないが、道道工事にあわせて排水路の改良等を行い、流下能力の向上を図った。

今回の内水被害は、サンル川の水位が上昇し、河川の水が堤防から逆流しないよう樋門を閉扉したことにより、内水による浸水が発生したものである。

なお、サンルダムが完成すれば、河川水位を低下させることができ、今回の内水被害は軽減されたものと推定される。

